

緑の分析 4. 地域の景観をつくる緑

1) 現況

① 里山や田園、旧街道や元小山川、社寺や古墳など、本市の歴史を今日に伝える景観資源が数多く分布

ふるさとの景観を構成する緑には、農的な関わりによって維持されてきた里山や田園の景観のほか、旧街道、社寺や古墳など、本市の歴史を今日に伝える景観資源も数多く分布している。

② 斜面林や屋敷林などの民有林は良好な景観を構成するものが多い。一方、管理に要する費用の補填等、保全支援を求める意見あり。

③ 街路樹は、まちの美観の向上や緑陰をつくるなど重要な役割を果たしているが、植栽の管理や歩道の維持など管理上の問題が近年顕在化

④ 巨木は、金鑽神社、城山稻荷神社等の社寺を中心とした68箇所にて点在しており、一部は文化財(天然記念物)に指定されているものもあるが、保全策が講じられていないものがある。

まちの景観を構成する面的・線的・点的な緑

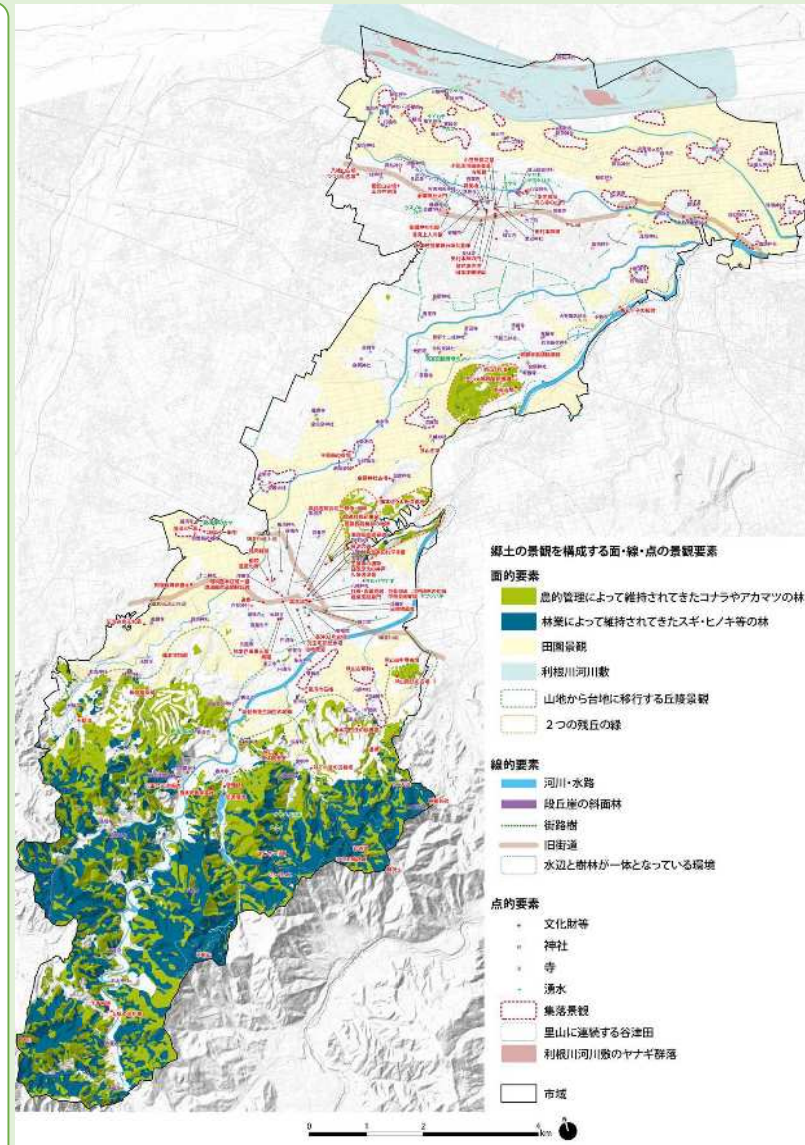
	面	線	点
地形 眺望等	南部の山林景観 秋山、小平、高柳、飯倉、宮内にわたるなだらかな丘陵地景観 残丘(大久保山、生野山)	元小山川と段丘斜面林の一体景観 小山川と沿川公園緑地の一体景観 小山川と大久保山の一体景観 小山川と生野山の一体景観	丘陵に切れ込む谷津田 眺望点
河川・池	利根川河川敷	元小山川、女堀川、男堀川、備前堀川、御陣場川 等	ため池、湧水
田園 景観	台地の畑地等 市北部や女堀川沿い等の水田地帯		
公共施設 道路		街路樹のある道路	公園、学校の緑
歴史的 景観		中山道、鎌倉街道	社寺仏閣、古墳、巨木、屋敷林 歴史的建造物、集落景観



城山稲荷神社のケヤキ



児玉恵池のマルバヤナギ



郷土の景観を構成する緑

2) 課題

① 里山や田園の景観、社寺や古墳など本市の歴史を今日に伝える景観資源について、引き続き将来世代に引き継いでいくことが必要である①

② 巨木・古木、まち中の民有林等は、保全策を講じる必要がある②④

③ 道路緑化の今後のあり方について検討する必要がある③

3) 方向性(案)

- ・地域の緑の継承を図る
- ・本庄の緑の景観の魅力発信を図る
- ・市民ニーズに応じた道路・河川緑化を図る